

井上聖雪さんの案内でめぐる

都立薬用植物園見学会 第2弾！ 報告

昨年9月28日、当会理事井上聖雪さんの案内でめぐる薬用植物園見学会は大変好評をいただきました。ぜひ季節を変えて計画して欲しい！とのリクエストにお応えして開催が叶った本企画。HPで参加募集をしたところ、定員15名があつという間に埋まってしまう人気ぶりでした。

開催日は冷え込みが強まる1日前、奇跡的ともいえるくらいのぽかぽか陽気に恵まれました。井上さんの薬用植物に関する広く深い知識と実践に基づくユーモアたっぷりの解説を聞きながら、植物を見て触れながら散策するのは本当に贅沢な時間です。なんとホオノキ（乾燥させたものは厚朴）が宇宙進出を果たしたという話まで飛び出して、皆様から感嘆の声があがりました！花や実の少ない季節の植物園は少し寂しいかしら…と心配していたのは全くの杞憂でした。

前日植物園まで下見に訪れてくださっていた井上さん。「ほら、昨日は咲いていなかったチョウセンレンギョウが今日は1輪咲いていますよ！」と、笑顔いっぱい教えてくださいました。気になる薬用植物をいくつか見つけて、四季折々に変化する姿を観察し続けるのも植物園の楽しみ方だなあと気づかせていただきました。井上さん、ご参加の皆様、ありがとうございました。（交流部 吉開有紀記）



春はすぐそこに…自然に笑顔もほころびます。



←生薬基原植物案内士としても活躍の井上聖雪さん。

植物愛あふれる井上さんの解説に惹きこまれます。



ウメ



サンシュユ



ホオノキ（生薬名：厚朴）



キハダ（樹皮：黄柏）



チョウセンレンギョウ



セリバオウレン



トチュウ

樹皮をじっくり観察できるのも葉の少ないこの季節の醍醐味。